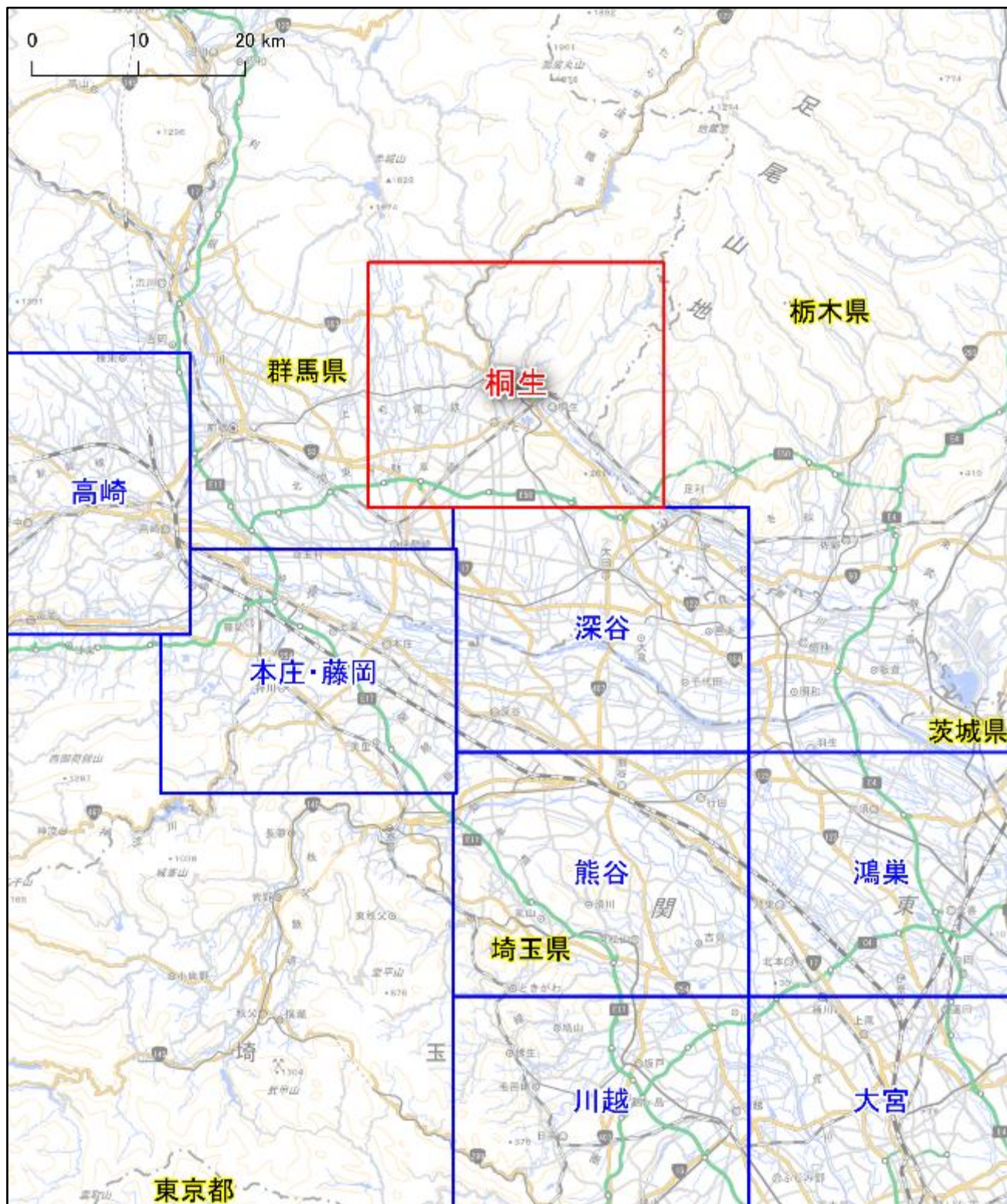


位置図

資料2

1:25,000 活断層図 大久保断層及び太田断層とその周辺「桐生」

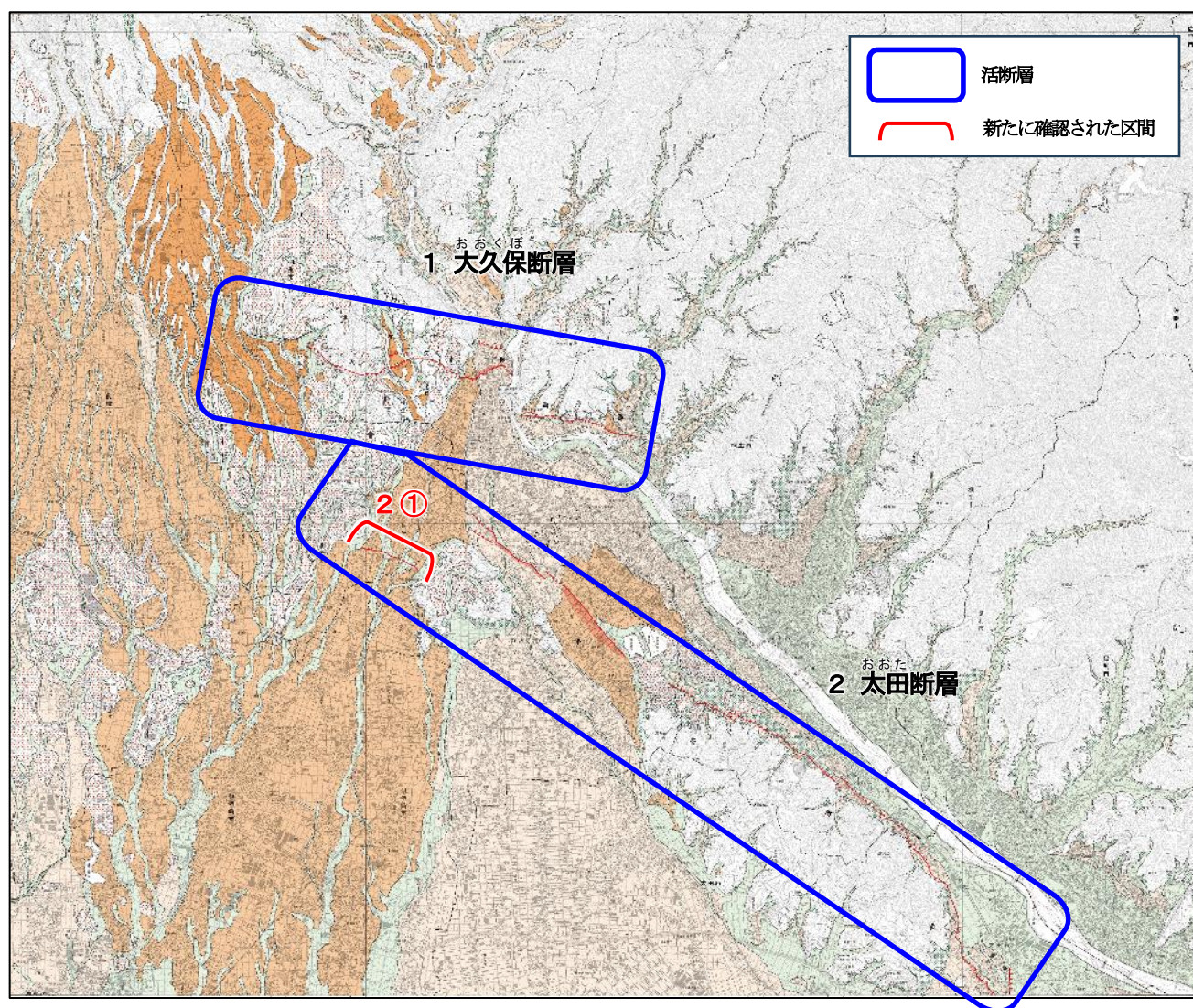


新たな公開図郭

公開済図郭

概要

1. 断層索引図（「桐生」の範囲）



2. 今回の調査で得られたこと

「桐生」の図には、大久保断層約 8km、太田断層約 15km を表示しています。
表示した活断層は、以下のとおりです（下表の番号は断層索引図と対応しています）。

番号	断層名	断層について
1	おおくぼ 大久保断層	大久保断層は、桐生市新里町関 にいさとちょうせき から同市川内町三丁目 かわうちちょう に至る活断層です。本図には縦ずれ※の変位を主体として一部に活撓曲※、活褶曲※、地形面の傾動※を含み、西北西－東南東方向に延びる長さ約 8 km の区間が表示されています。
2	おおた 太田断層	太田断層は、桐生市新宮 あらみや から太田市矢田堀町 や だぼりちょう （図面の南辺）を經由し図面外に延びる断層です。本図には縦ずれの変位を主体として一部に活撓曲、地形面の傾動を伴う、北西－南東方向に延びる長さ約 15 km の区間が表示されています。 <u>今回の調査で、桐生市新宮付近（図中 2①の区間）を新たに活断層として確認しました。</u>

※ 印は、参考資料の「5. 用語の説明」を参照